



JCHO

独立行政法人地域医療機能推進機構

Japan Community Health care Organization

JCHO九州地区

薬剤師

我ら全国ネットのJCHOは地域住民、行政、関係機関と連携し
地域医療の改革を進め、安心して暮らせる地域づくりに貢献します。

What is JCHO?

- ◆全国に広がる病院群で、ナショナルスケールメリットがあります。
- ◆病院だけではなく、介護老人保健施設を有し、リハビリテーション体制も充実しており、超高齢社会のニーズに対応するポテンシャルがあります。
- ◆このため、「急性期医療～回復期リハビリ～介護」のシームレスなサービスを提供できるグループとして、時代の要請に応える使命があります。



JCHO GROUP

病院 57施設
介護老人保健施設 26施設
訪問看護ステーション 28施設
地域包括支援センター 11施設
健康増進ホーム 1施設
看護専門学校 7施設

JCHO 九州地区

病院 14施設
介護老人保健施設 7施設
訪問看護ステーション 7施設
地域包括支援センター 1施設

福岡ゆたか中央病院



久留米総合病院



佐賀中部病院



伊万里松浦病院



諫早総合病院



天草中央総合病院



熊本総合病院



下関医療センター



徳山中央病院



九州病院



湯布院病院



南海医療センター



宮崎江南病院



人吉医療センター



地域における医療連携の取組

地域の病院、診療所との患者の紹介、逆紹介を推進

地域医療連携室・患者相談窓口の強化

地域連携クリティカルパスの取組の推進

地域の病院とCTやMRIなどの高額医療機器の共同利用を推進

地域に開かれた開放型病床の運営

地域の医療従事者及び地域住民に対して研修を定期的に開催

- 地域医療支援病院 16施設
- 地域がん診療連携拠点病院 3施設
- 都道府県が指定するがん診療連携推進病院等 15施設
- 地域包括支援センター 13施設
- 地域リハビリテーション支援センター 4施設

5つの医療で地域のニーズ対応

5事業5疾病

1) 5事業（救急医療、災害医療、へき地医療の支援、周産期医療、小児医療）

①救急医療・・・地域住民と地域医療に貢献するために、救急医療に積極的に取り組み、救急患者の受入数の増加を目指します。

- 救命救急センター : 2施設
- 救急医療提供病院 : 57施設

②災害医療・・・大規模災害が発生した場合には、被災地の実情に応じ、災害発生初期のみならず持続的に支援を行います。

- 災害拠点病院 : 13施設
- 災害支援病院・協力病院・救護病院 : 14施設

③へき地医療・・・へき地を含む医師不足地域への支援について、全国的なネットワークを活かして協力をを行います。

- へき地医療拠点病院 : 4施設
- へき地診療の支援 : 12施設
- へき地診療所の指定管理者 : 2施設

④周産期医療・・・分娩数、ハイリスク分娩数、母体又は新生児搬送の受入数について増加を目指します。

- 地域周産期母子医療センター : 6施設
- ハイリスク分娩を取り扱う病院 : 15施設

⑤小児医療・・・小児救急患者の受入数について増加を目指します。

- 小児救急医療（病院群輪番制・夜間休日対応） : 23施設

2) 5疾病（がん、脳卒中、急性心筋梗塞、糖尿病、精神疾患）

地域のニーズを踏まえ、各病院においてこれまでの取組の充実を行います。



研究事業

地域医療機能の向上に係る調査研究の推進

健診事業・診療事業・介護事業で得られたデータを統合し、公衆衛生学・社会的なアプローチも含めた調査研究を行い、その成果を地域の課題解決に係るモデル等として情報発信します。

各関連機関と連携した取組（臨床研究及び治験の推進）

JCHOが有する全国ネットワークを活用し、EBM（エビデンスに基づく医療〈Evidence Based Medicine〉）推進のための臨床研究を推進します。また、治験・市販後調査にも取り組みます。



教育研修事業

地域の医療・介護従事者や地域住民に対する教育活動

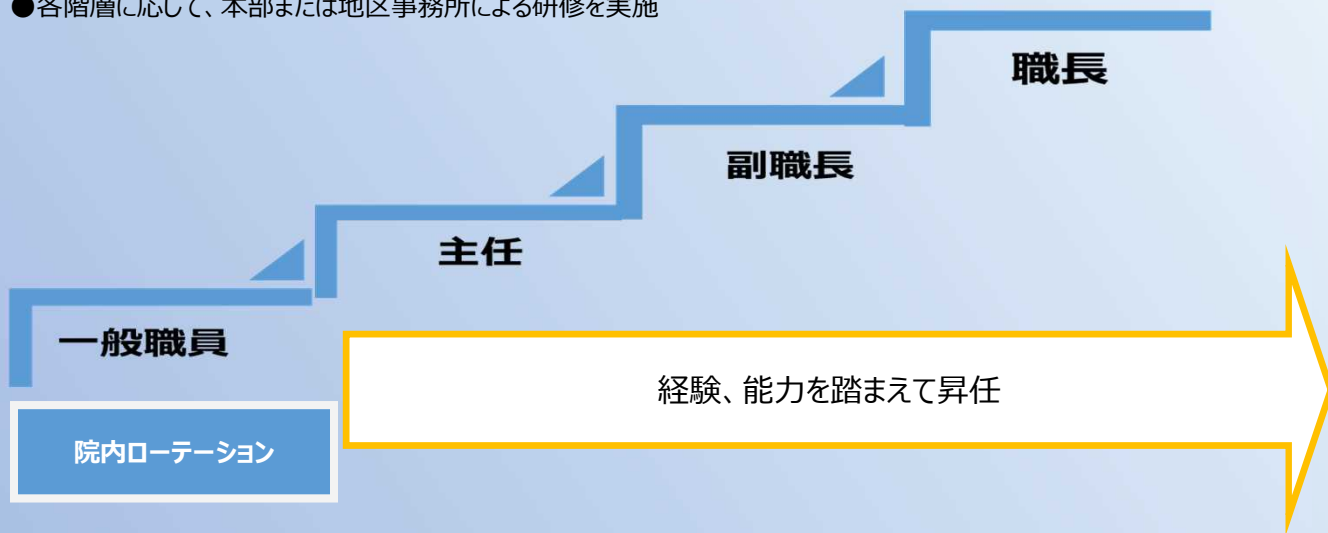
地域の医療・介護の従事者に対し、地域連携等に係る研究会の開催や医療従事者の人材育成に係る研修事業を実施します。

地域住民の健康の意識を高めることなどを目的として、地域住民を対象とした公開講座等を開催し、地域社会に貢献する教育活動を実施します。

地域医療・地域包括ケアの要となる人材の育成

JCHOの特色を活かした臨床研修プログラムやキャリアパスにより、JCHOが担う医療等に対する使命感をもった職員の確保・育成に努めます。

- 各階層に応じて、本部または地区事務所による研修を実施



JCHOではキャリアアップの一環として、採用病院での勤務では得られない、管内他病院での特徴ある医療を経験できるよう異動を行い、視野の広い医療専門職を養成し地域医療を支えます。※異動は、各職員の事情を考慮します。

先輩職員からのメッセージ

様々な症例に接することのできる職場で、多くのことを学んでいきたいです



阿部 名月
JCHO九州病院
2014年 入職

JCHO九州病院には多くの診療科があり、様々な症例に触れることができるため大変勉強になります。また、各分野において資格を取得しておられる先輩方が多く活躍されており、自分のチャレンジしたいことに対して積極的にアドバイスをして頂けます。

調剤業務では、患者さんの体重や検査データを見ながら薬剤の用法・用量が妥当であるかを判断し、適切な薬物治療が行われるよう心がけています。

また、病棟業務では実際に患者さんのお話を聴くことで、薬剤の用量調節や処方提案を行っています。患者さんとの関わりを大切に、安心して服薬を継続して頂くために、それぞれに見合った服薬指導を行うよう努めています。まだまだ知識も経験も足りませんが、医療チームの一員として貢献できるよう、日々学ぶ姿勢を忘れずに励んでいきたいです。

待遇について

1) 給与 給与は独立行政法人地域医療機能推進機構職員給与規程により支給されます。

(平成30年4月現在)

採用1年目		大卒	
		6年制（薬学部）	4年制
月給	基本給	207,800	185,400
	諸手当込※	239,000	216,600

※諸手当・・・条件に応じて下記の手当が支給されます。

通勤手当、住宅手当、扶養手当、時間外手当、広域異動手当、地域手当（都市手当：勤務地により異なる）等
上記は、九州地区の病院勤務で通勤は車で5kmの距離、家賃55,000円の場合の例です。

通勤手当、住宅手当は条件により変わります。

- 賞与（年2回）、年度末賞与（医業収益が良好な病院に支給）

2) 休日・祝日等

4週間を通じて8日、他に国民の祝日、年末年始（12月29日～1月3日）の休日

3) 休暇等

年次休暇（年20日 繰越日数最高20日 初年度は在職期間に応じ定めた日数）、病気休暇、
特別休暇（夏季休暇、結婚休暇、出産休暇、配偶者の出産休暇、介護休暇、子の看護休暇、忌引き、災害被災時など）
その他：育児休業、育児短時間勤務、介護休業、自己啓発休業 等

4) 福利厚生

- ・健康保険、厚生年金、雇用保険、労災保険
- ・退職金制度
- ・院内保育所あり（下関医療センター・徳山中央病院・九州病院・久留米総合病院・佐賀中部病院・諫早総合病院）

5) ワーク・ライフ・バランス支援

- ・「育児短時間勤務」「育児休業」などの各種制度の確保
- ・院内保育所の整備
- ・常勤職員として採用後、本人のキャリアアップ、人材育成及びライフイベント（結婚・配偶者の転勤等）に配慮し、地域医療機能推進機構内の病院へ異動の希望を支援します。



独立行政法人 地域医療機能推進機構

下関医療センター

住所：山口県下関市上新地町三丁目3番8号

Tel：083-231-5811

mail：main@shimonoseki.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：315床 宿舎：なし 保育所：あり

診療科：総合内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、整形外科、脳神経外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、歯科口腔外科、血液内科、消化器外科、呼吸器外科、病理診断科、緩和ケア内科、血管外科、糖尿病・内分泌内科、乳腺・内分泌外科



薬剤科長からのメッセージ

—私たちは一人ひとりの患者さんへ適切な薬物療法を支援します—

「私たちは一人ひとりの患者さんへ適切な薬物療法を支援します。」をモットーに調剤、注射薬の一施行ごと払い出し、特殊製剤、TPN調剤、抗癌剤のレジメン登録および調剤、DI、TDM、新薬創生に関する治験業務、全病棟に薬剤師を配置しての病棟薬剤業務の実施、持参薬の鑑別、薬剤管理指導業務など薬にかかわるさまざまな業務を行っております。栄養サポート、感染対策、褥瘡対策、緩和ケア、糖尿病、がん化学療法など各チームで得られた情報を業務へフィードバックしております。また専門分野の認定を取得した薬剤師も多く、学会への参加、発表なども積極的にしております。このように我々薬剤科では日々進歩する薬物療法を習得し、適切に実施することに寄与し、患者さんの早期の社会復帰に貢献できるよう医師、看護師や他の医療スタッフと共に取り組んでいます。

薬剤科の理念

- ・患者本位の薬学的管理
- ・医療安全のための点検・確認
- ・チーム医療推進のための協力・調和



2012年入職 薬剤師 深井 希江

私が好きな瞬間：
患者さんに、「治験に参加して良かった」と言われたとき。



下関医療センターでは、薬剤師が院内専任の治験コーディネーター（CRC）として、治験業務に積極的に携わっています。治験業務は多岐にわたりますが、薬剤師の職能を生かし、試験の科学性・倫理性・信頼性を確保しながら、質の高い治験を円滑に実施していけるよう、日々業務に取り組んでいます。

治験業務において最も重要なことは、患者さんの気持ちを受け止めて、患者さんが安心して治験に参加できるようにサポートすることです。『治験』を経て世に出てくる『新薬』が、多くの人々を救うことを願って、今日も誇りをもって仕事をしています。

2011年入職 薬剤師 原田 晃典

私が好きな瞬間：
他職種に名前が「原田さん」と呼ばれたとき。



当院脳外科・脳内科・整形外科を担当させてもらっています。最初に病棟を任されたときは「これお願いします。」程度の声掛けだったものが、「ちょっと薬剤師さん・・・」から、今では他職種の方から「原田さん」としっかり呼んで仕事を頼まれるようになりました。薬学的な知識の向上は当然求められますが、それとは別に信頼関係の構築がうまくいかなければ仕事の連携はうまくいきません。簡単なことですが、それだけでとても動きやすい環境になりました。病棟の他職種の方もみな優しく、分からないことは丁寧に教えてくれます。そのリターンとして、こちらでもできるだけ薬の情報を提供しなくてはと意気込んでまいります。安心できる医療を患者さんに届けるためには、チーム医療の円滑さが重要になりますが、まずは「薬剤師原田」の認識を少しでも広げていけたらよいなと考えています。



《施設認定》

日本がん治療認定医機構認定研修施設
日本静脈経腸栄養学会NST専門療法士実地修練施設

《認定薬剤師》

日本静脈経腸栄養学会：認定NST専門薬剤師
日本病院薬剤師会：がん薬物療法認定薬剤師
日本糖尿病療養指導士
山口県糖尿病療養指導士
日本薬剤師会：認定スポーツファーマシスト
日本臨床薬理学会：認定CRC
日本薬剤師研修センター：実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会：実務実習指導薬剤師
日本病院薬剤師会：生涯研修認定薬剤師
日本薬剤師研修センター：認定薬剤師

住所：山口県周南市孝田町1番1号

TEL：0834-28-4411（代）

mail：main@tokuyama.jcho.go.jp

担当：総務企画課 乙藤

病床数：519床 宿舎：なし 保育所：あり

診療科：内科、循環器内科、消化器内科、神経内科、血液内科、糖尿病内分泌内科、小児科、外科、小児外科、脳神経外科、整形外科、リウマチ科、皮膚科、形成外科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻咽喉科、放射線科、麻酔科、ペインクリニック内科、心臓血管外科、歯科、歯科口腔外科、緩和ケア内科、精神科、救急科、リハビリテーション科

若手には熱い先輩方（薬剤師33名）から十分な指導が行われ病棟はもちろん、各方面で活躍中！



薬剤部長からのメッセージ
薬剤師 維新
 まだ出会ったことのない
 薬剤師を探してる

薬剤部の理念

**医療・研究・教育を極めた
 トリプルスリーを目指す**



2008年入職 薬剤師 大森 義朗

患者さんはもちろん、
 医師や看護師の顔を見て、
 自分の顔を見せて
 対話することにやりが
 いと責任を感じます。



私が普段働いている所は外来化学療法室という場所です。主な業務内容は服薬指導、副作用のモニタリング、医師への支持療法等の提案です。そして、私にはもう一つ重要な役割があります。それは初回面談です。抗がん剤の点滴を受ける患者さんに薬剤の効果と副作用、相互作用やその他の特徴を情報提供します。

2013年入職 薬剤師 吉原 美佳

育児との両立は大変な
 こともあります。さら
 なるスキルアップを
 目指して頑張りたい
 と思います。



私は育児休業を経て復職しました。当院では保育所が設置されているので、そこに子どもを預けて働いています。またそれだけではなく職場の方々の理解もあり、女性が働きやすい環境が整っているのが大変有難く感じています。今後は自分の経験を活かした患者さんのケアも目指していければと思います。



**救命救急センター・ICU・入院支援室など全病棟や外来
 に薬剤師を配置**

《認定指導薬剤師》

- 日本医療薬学会 認定薬剤師
- 日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
- 日本臨床救急医学会 救急認定薬剤師
- 日本静脈経腸栄養学会 栄養サポートチーム専門療法士
- 日本褥瘡学会認定師
- 日本糖尿病療養指導士
- 山口県糖尿病療養指導士
- 薬剤師研修センター 認定実務実習指導薬剤師 など



独立行政法人 地域医療機能推進機構

九州病院

住所：北九州市八幡西区岸の浦1丁目8番1号

TEL：093-641-5111（代）

mail：jinji@kyusyu.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：575床 宿舎：あり 保育所：あり



- ・日本医療薬学会認定薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
- ・日本医療薬学会薬物療法専門薬剤師研修施設

診療科：整形外科、外科、呼吸器外科、消化器外科、胃腸外科、肝臓外科、胆のう外科、膵臓外科、乳腺外科、心臓血管外科、脳神経外科、形成外科、内科、呼吸器内科、消化器内科、胃腸内科、肝臓内科、胆のう内科、膵臓内科、血液内科、腫瘍内科、腎臓内科、代謝内科、内分泌内科、循環器内科、老年内科、皮膚科、泌尿器科、産婦人科、眼科、耳鼻いんこう科、頭頸部外科、小児科、循環器小児科、新生児小児科、小児外科、精神科、神経内科、放射線診断科、放射線治療科、臨床検査科、病理診断科、麻酔科、ペインクリニック外科、救急科、リハビリテーション科、心臓リハビリテーション科

病院の特色：1955年に九州厚生年金病院として設立。急性期医療施設として、北九州における基幹病院の役割を担っています。2016年度1日平均入院患者数461.2人、1日平均外来患者数735.7人平均在院日数12.0日、病床利用率80.2%、職員数は約1,100人（うち薬剤師30人）。新生児から超高齢者までの循環器疾患治療と心臓外科手術、地域がん診療連携拠点病院としてがん看護、緩和ケア、福岡県地域周産期母子医療センターとして周産期医療、小児医療に取り組んでいます。また、救急告示病院としてヘリポートの設置、救急医療体制の充実にも力を注いでいます。

薬剤部長からのメッセージ

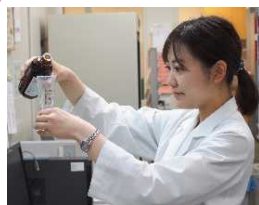
—組織として最も大切なことは、
優れた人材を育成することです—

若い薬剤師さんが描く大きな夢を実現するために、臨床の現場で学びチャレンジできる環境が、当院にはすべて整っています。後はやる気と実行力。各種学会などの認定資格を有するプロの先輩薬剤師と一緒に、真剣に楽しく仕事をしてみませんか。



薬剤部の理念

「病める人」の立場に立って、最適・最良の薬剤
管理を行い、安全で有効な医薬品を提供します。



2013年入職 薬剤師 有吉 美幸

お薬の相談などを通して、患者さんの不安や苦痛を少しでも和らげたい。



私は産婦人科病棟担当で、婦人科がんの患者さんや妊婦の方などの薬物療法に関わっています。化学療法や医療用麻薬の説明、副作用モニタリング、お薬についての相談などを通して、それぞれの患者さんの不安や苦痛を軽減できるよう、業務にあたっています。



2012年入職 薬剤師 小笠 裕斗



院内製剤、無菌調製業務を担当しています。病棟は消化器内科と脳外科を担当していて、化学療法の説明や副作用チェック、抗菌薬等の薬物治療モニタリングなど幅広く介入しています。患者さんの治療への疑問や不安を軽減できるように、わかりやすい服薬指導と他職種間での連携に重点を置いて業務を行っています。

主な認定・ 専門薬剤師	がん薬物療法認定薬剤師	感染制御認定（専門）薬剤師	心臓リハビリテーション指導士
	NST専門療法士	日本糖尿病療養指導士	日本医療薬学会認定（指導）薬剤師
	腎臓病薬物療法認定薬剤師	小児薬物療法認定薬剤師	スポーツファーマシスト
	緩和薬物療法認定薬剤師	認定実務実習指導薬剤師	福岡県DMAT



独立行政法人 地域医療機能推進機構

久留米総合病院

住所：福岡県久留米市柳原町21番地

Tel：0942-33-1211

mail：main@kurume.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：175床 宿舎：あり 保育所：あり

診療科：呼吸器内科、消化器内科、糖尿病内科、内分泌代謝内科、循環器内科、腎臓内科、腎臓外科、一般外科、消化器外科、乳腺外科、整形外科、リハビリテーション科、産婦人科、泌尿器科、麻酔科、ペインクリニック内科、皮膚科、眼科、放射線科、精神科（リエゾン）、病理診断科、総合診療科、女性総合診療科、リハビリテーションセンター、外来化学療法センター、手術センター



病院の特色：当院は、福岡県久留米市の中心部にあります。保健（健康管理センター）、医療（病院）、介護福祉（介護老人保健施設）が三位一体となった複合医療施設です。健康診断から病気の治療、そして介護まで切れ目のない包括的な医療サービスを提供いたします。

全国に先駆け、女性外来・女性専用病棟を開設、乳がん治療や婦人科疾患治療で実績を積み、特に女性疾患治療の充実に尽力してまいりました。常に、地域のニーズに対応した医療を展開しています。

薬剤科長からのメッセージ

共に働く仲間を募集しています。

当薬剤科は院外処方体制および医薬品卸との合理的な医薬品供給共同管理（SPD）体制を整備しておりますので、病院薬剤師として臨床業務に集中して取り組むことができます。また、学生教育、治験、臨床研究、学会活動さらには専門薬剤師へのキャリアアップにまで積極的に取り組んでいます。

患者さんが最良な薬物治療を納得され安心して受けられるよう、必要な時間を十分かけて業務に取り組むことは大切です。200床未満の小さな病院ですが、薬剤師としてこうした「思い」を共有し、助けあいながら、質の高い薬物療法が提供できるように日々努力しています。

《施設認定》

日本医療薬学会がん専門薬剤師研修施設
薬学教育協議会薬学生実務実習受入施設
日本病院薬剤師会プレアボイド報告施設

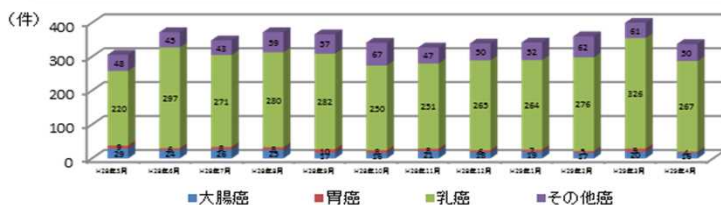
《認定薬剤師》

日本医療薬学会 がん指導薬剤師
日本医療薬学会認定薬剤師
日本病院薬剤師会 がん専門薬剤師
日本病院薬剤師会 感染制御専門薬剤師
日本病院薬剤師会 がん薬物療法認定薬剤師
日本臨床腫瘍薬学会 外来がん治療認定薬剤師
日本化学療法学会 抗菌化学療法認定薬剤師
日本糖尿病療法指導士
日本病院薬剤師会 認定指導薬剤師
日本病院薬剤師会 生涯研修認定薬剤師
日本薬剤師研修センター認定実務実習指導薬剤師
日本薬剤師会生涯学習支援システムJPALSレベル6

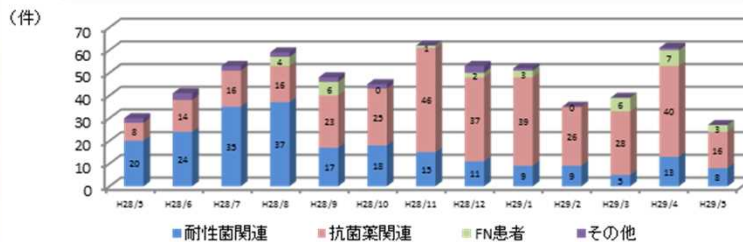
【薬剤科理念】

医療チームの一員として最良の薬物療法を支援する

がん化学療法に関するチーム活動実績(抗がん剤レジメン数)



感染制御に関するチーム活動実績(ASTラウンド患者数)



住所：福岡県直方市大字感田523-5

Tel：0949-26-2311

mail：main@fukuoka.jcho.go.jp

担当：事務長補佐（総務）石井 潤

病床数：162床 宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、外科、乳腺外科、消化器内科、呼吸器内科、リウマチ科、循環器内科、呼吸器外科、整形外科、眼科、肛門科、皮膚科、麻酔科、放射線科、リハビリテーション科



病院の特色

162床の急性期病院です。地域の中核病院として活躍しています。「職員満足なくして患者満足なし」という方針で、地域の方々のみならず、職員からも「選ばれる病院」でありたいと、人材育成や職場環境づくりに力を注いでいます。



薬剤科長からのメッセージ

アットホームで働きやすい職場です。
一緒に働いてみませんか？

【薬剤科理念】

1. 患者様の立場に立って、最適・最良の薬剤管理を行い、安全で有効な医薬品を提供します。
2. 医療チームの一員として、医薬品の適正使用を推進します。

当院は、小さいながらも様々な疾患を臨床現場で勉強できる病院です。外科の化学療法や膠原病、糖尿病、呼吸器疾患など、薬剤師が活躍できる疾患が多く、やりがいのある職場です。

感染制御や栄養管理、糖尿病、リウマチ等のチーム医療も、日ごろから医師や看護師など他職種とコミュニケーションがとれていて、アットホームで話しやすい雰囲気があります。

5S活動（整理、整頓、清掃、清潔、しつけ）や5K活動（笑顔、気配り、工夫、継続、声掛け等）が盛んで、安全で働きやすい職場環境を作っています。

学会や研修会への参加もしやすく、認定薬剤師の資格取得も応援します。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

佐賀中部病院

住所：佐賀県佐賀市兵庫南三丁目8-1

TEL：0952-28-5311

mail：main@saga.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：160床 宿舎：あり 保育所：あり



診療科：内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、血液内科、外科、整形外科、婦人科、眼科、リハビリテーション科、麻酔科、神経内科、放射線科

病院の特色

昭和21年に設立され、平成8年に現在地に移転しました。

病院に健康管理センター、リハビリテーションセンター、介護老人保健施設を併設し、疾病の早期発見、治療、機能回復まで一貫した医療体制を整え、地域医療への貢献を目指しています。

薬剤科長からのメッセージ

チームワークが自慢の職場です。

共に働く仲間を歓迎します。

【薬剤科理念】

医薬品の有効性と安全性の確保のために、
薬剤師として最大に努力します



当病院は160床と小規模ですが、病院薬剤師として出来る限りの臨床業務を行っています。新人として基礎的な調剤業務(内服薬・注射薬・外用薬)を習得し、カルテや薬歴を見て判断できるようになれば、患者さんのもとにまいり薬剤管理指導業務を行います。

最良な薬物治療を納得し安心して
受けていただくよう、患者さんに寄り

添い業務に取り組むことの大切さは言うまでもありません。薬剤師として質の高い薬物療法が提供できるよう、薬剤科は日々研鑽しています。

専門薬剤師を目指すのも大いに結構です。これからも個々の努力と持ち前の
チームワークで、より良い薬剤科を築いていきます。



認定薬剤師：

日本静脈経腸栄養学会：栄養サポートチーム専門療法士

日本病院薬剤師会：認定指導薬剤師・生涯認定薬剤師

日本薬剤師研修センター：認定実務実習指導薬剤師・認定薬剤師

筑後佐賀糖尿病療法指導士会：筑後佐賀糖尿病療養指導士





独立行政法人 地域医療機能推進機構

伊万里松浦病院

住所：佐賀県伊万里市山代町立岩417番地

TEL：0955-28-3100

mail：main@imari.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：112床 宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科、呼吸器科、消化器科、循環器科、外科、整形外科、皮膚科、こども科、眼科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科



病院の特色：地域社会に根付いた医療を半世紀にわたり行っています。早期発見、早期治療を目指して佐賀県内一円及び長崎県北部の事業所の生活習慣病健診、事業所健診に力を入れています。JCHOグループ病院として、地域医療、地域包括ケアの要として、超高齢社会における地域住民の多様なニーズに応え、地域の実情に応じた運営に努めています。

薬剤科長からのメッセージ

良質かつ適切な医療を提供することに、日々努めています。
一緒に頑張りましょう。

【薬剤科理念】

病院の理念に基づき、安全かつ適正な薬物療法を確保し、
「病む人の気持ち」をくんだ心のこもった医療を提供する。

当薬剤科では、医療・薬物治療の質の向上と地域医療への貢献に努めています。

医療・薬物治療の質の向上については、医療の安全確保のための薬歴に基づく処方監査の充実、患者情報に基づく服薬指導と薬学的ケアの実施、入院患者の持参薬管理、抗がん剤、免疫抑制薬、糖尿病治療薬などのハイリスク薬の処方鑑査により、医療事故の防止に努めています。

チーム医療については、薬剤師としての職能を活かし、栄養サポートチーム、感染防止対策チーム、糖尿病委員会などへ参画し安全性の確保と質の向上に努めています。

当院薬剤科の業務は多岐にわたっており、限られた人員で厳しい面もありますが、地域医療に貢献できるよう、スタッフ全員で頑張っています。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

諫早総合病院

住所：長崎県諫早市永昌東町24番1号

TEL：0957-22-1380

mail：soumu@isahaya.jcho.go.jp

担当：総務企画課

宿舍：なし 保育所：あり

病床数：323床 一般病床315床（うちICU8床）、結核病床8床

診療科：内科、神経内科、呼吸器内科、消化器内科、循環器内科、リウマチ科、外科、呼吸器外科、整形外科、小児科、耳鼻咽喉科、皮膚科、眼科、泌尿器科、産婦人科、麻酔科、歯科口腔外科、放射線科、病理診断科、リハビリテーション科、精神科、腫瘍内科

職員数：約570名



病院の特色：当院は急性期病院として、諫早・島原半島の人口約20万人の医療圏において医療を提供しています。

病床数323床、診療科22、健康管理センター、透析センター、内視鏡センター、がん治療センターを併設しており、地域医療支援病院・災害拠点病院・救急告示病院・認知症疾患医療センター・がん診療連携推進病院等の指定を受け、地域に密着した安心・安全な医療の提供に努めています。

薬剤科長からのメッセージ

病院全体が家族のようでも働きやすい病院です。自分が成りたい薬剤師を目指せます。ぜひ一緒に働きませんか？

【薬剤科理念】

薬剤科では「すべての患者さんに安心・安全な薬物療法を提供する」を目標として業務に取り組んでいます。



認定薬剤師を目指して頑張っています。

病棟業務を早くから経験できやりがいを感じています。



当院では病棟薬剤業務を中心として業務を展開しています。

多くの診療科があり様々な疾患を経験できます。

新人の薬剤師も1年後をめぐりに病棟業務を行っています。

また、医師、看護師、リハビリなどの専門職の人たちと一緒に積極的にチーム医療に参加しています。

研修会にも参加し認定などの取得に努めています。

《主な認定薬剤師》

日本研修センター認定薬剤師

認定実務実習指導薬剤師

がん薬物療法認定薬剤師

感染制御認定薬剤師

NST専門療法士

糖尿病療養指導士

熊本総合病院

住所：熊本県八代市通町10番10号

TEL：0965-32-7111

mail：main@kumamoto.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：344床（一般340床・感染4床）

宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、腫瘍内科、感染症内科、アレルギー疾患内科、血液内科、呼吸器内科、循環器内科、消化器内科、胃腸内科、内視鏡内科、神経内科、腎臓内科、人工透析内科、糖尿病内科、内分泌内科、代謝内科、脂質代謝内科、総合診療科、外科、呼吸器外科、消化器外科、乳腺外科、肛門外科、腫瘍外科、肝臓外科、膵臓外科、胆のう外科、食道外科、胃外科、大腸外科、内視鏡外科、疼痛緩和外科、心臓血管外科、整形外科、リハビリテーション科、脳神経外科、耳鼻咽喉科、頭頸部外科、皮膚科、泌尿器科、婦人科、眼科、放射線科、放射線治療科、病理診断科、アレルギー科、麻酔科



病院の特色：当院は、「機能溢れる高度急性期病院」であるのみならず、「八代のランドマークとなつて新しい美しい街創りに貢献する病院」です。「医療と共に公に一肌脱ぐ」、「職員自身がかけたい病院にする」をモットーに、職員全員がプロとして質の高いチーム医療ならびに満足度が高い接遇の提供に努めています。教育では、各個人の持つ多様なキャリアデザインニーズに対応した人材育成を行っています。職員にとって働きがい・魅力のある病院です。



【薬剤科理念】

医療チームの一員として、適正・安全な薬物療法を支援します

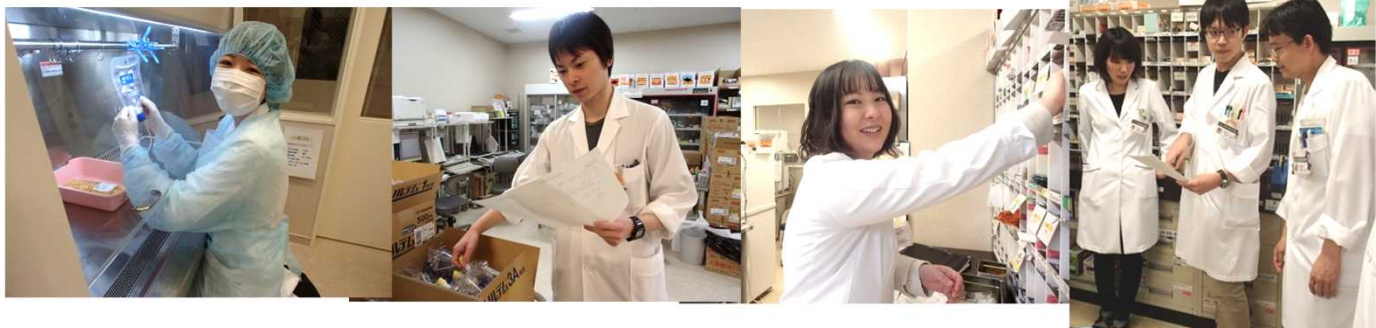
薬剤科長からのメッセージ

当院薬剤科では、院長の掲げる「医師を中心としたチーム医療」という行動方針のもと、医薬品情報室と認定薬剤師などを柱に「医師・看護師等を対象にした情報提供活動」を展開、「自分自身がかけたい医療」の実践を目指しています。その中で、薬剤師ひとりひとりが、かかわった人々の中で「かけがえのない存在」となっていきたいと思っています。

熊本総合病院薬剤科は、病棟薬剤業務実施加算等を通じて、チーム医療の中に薬剤師がしっかりと存在感をもって活動しています。がん、感染、褥瘡、NSTなどの認定者が多数居るといだけでなく、その活動が地域でも高く評価され、科長及びスタッフが、日本薬剤師会、熊本県薬剤師会、熊本県病院薬剤師会、八代薬剤師会などから委員・役員を拝命し、各種研修会の講演・講師・座長や執筆を務めるなど、広く活動を展開しておりますので、業務実績・評価には大いに自信を持っているところです。

その基礎となる医薬品情報活動（DI活動）も充実し、各種発行物やシステム構築については、他施設が見学に来るレベルにあるので、知識・技能を磨きたい方に向いている職場です。

病院自体の立地は地方都市ではありますが、JCHO 57施設の中でもトップクラスの黒字経営であり、充実した設備・機能を持っております。大理石やマホガニーなどの自然素材が調和した建物は、その写真が大手建設会社のカレンダーに採用されるほど重厚美麗。このような環境で働いてみませんか。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

人吉医療センター

住所：熊本県人吉市老神町35番地

Tel：0966-22-2191

mail：main@hitoyoshi.jcho.go.jp

担当：総務企画課

宿舍：あり

保育所：病児保育あり

病床数：252床



診療科：糖尿病、代謝・内分泌内科、呼吸器内科、血液内科、循環器内科、小児科、消化器内科、外科、整形外科、皮膚科、泌尿器科、脳神経外科、眼科、耳鼻いんこう科、歯科口腔外科、画像診断センター、産婦人科、麻酔科、総合診療部
病理診断科、救急科、リハビリテーション部、相談支援センター、がんケアセンター

全人医療

“140年の歴史と設立の経緯を忘れず全人医療を提供します”の理念のもと、地域の医師会、大学、行政、住民の皆様と協力して5疾病5事業を始めとして地域の医療・介護福祉に貢献していきます。また、人吉球磨地方だけでなく南九州3県県境地域を診療域とし地域包括ケアに必要な総合診療医を育成する体制も整えています。予防から治療・緩和ケア・在宅支援まで当院が目指している全人医療を提供します。

薬剤科長からのメッセージ

当院の薬剤科では業務を制限することなく真に患者の為、他スタッフの為、そして自身の目標達成のため活動することを支援しています。それがチーム医療へ繋がり信頼を得て、なくてはならない存在としての「自己」を確立していくことだと思っております。

【薬剤科理念】

チーム医療の一員として、常に真摯な態度で薬物療法の安全確保と適正使用に貢献します

当院の薬剤科では薬物療法の安全確保と質の確保を第一とし、薬剤師は医師のベストパートナーとして適切な薬物療法ができるよう支援しております。2013年から外来薬剤業務（薬剤師外来）を開始しました。更に2017年には救急外来での診療支援も開始しました。人吉は地域全体の連携が密な地域です。

多職種が連携して医療・介護・福祉に携わっています。薬剤師として地域の皆さまに喜んでいただける支援を行っていきたく思います。今後は24時間体制の構築も視野に入れ、若いスタッフが自由に発言し活動できる職場を目指しております。





独立行政法人 地域医療機能推進機構

天草中央総合病院

住所：熊本県天草市東町101番地

TEL：0969-22-0011

mail：soumu@amakusa.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：155床 宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、小児科、外科、整形外科、脳神経外科、産婦人科、耳鼻咽喉科、リハビリテーション科、放射線科、皮膚科、
歯科口腔外科、麻酔科



病院の特色

- 専門医療の充実と他診療科との連携
- がん診療、治療の充実
- 熊本県産科中核病院・熊本県地域新生児中核病院
- 看護体制（認定看護師による看護の質向上）
- 地域医療連携の強化
- 救急医療の充実
- 画像診断
- 健診業務の充実
- 高齢者の疾患対策
- 附属介護老人保健施設との連携による医療介護

薬剤科長からのメッセージ

医師・看護師はじめ、医療スタッフから、薬物・薬物療法などよく問い合わせを受けます。

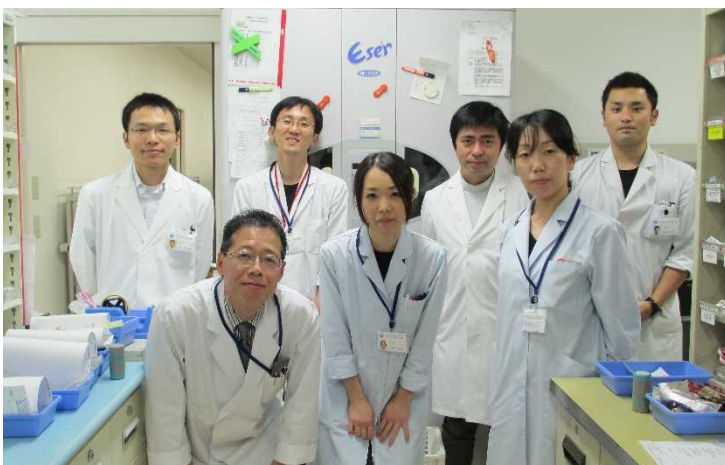
信頼される薬剤師の育成、また自由闊達な職場作りを目指しています。

当薬剤科は、現在、薬剤師5名、助手2名の体制で業務を行っています。熊本県指定がん診療連携拠点病院として、抗がん剤の混注業務、レジメン管理、投与設計とチェック・フォローなど質の高い、かつ安全な医療の提供を行うべく、積極的に支援しています。

また、薬学生の実習を受け入れ、患者へ寄り添う気持ちを大事にし、教育実習にも力を入れています。一人一人が不足している所を補い、学会へ積極的に出席し、医療人として成長していけるよう日々研鑽を積んでいます

【薬剤科理念】

医療の質の向上と医薬品の適正使用を推進する。



「施設認定」

薬学教育協議会薬学生実務実習受け入れ施設
日本病院薬剤師会プレアボイド報告施設

「認定薬剤師」

日本病院薬剤師会：生涯研修認定薬剤師
生涯研修履修認定薬剤師
日本薬剤師研修センター：認定実務実習指導薬剤師
認定薬剤師
熊本地域糖尿病療養指導士



独立行政法人 地域医療機能推進機構

南海医療センター

住所：大分県佐伯市常盤西町11-20

TEL：0972-22-0547

mail：main@nankai.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：260床 宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、外科、心臓血管外科、整形外科、脳神経外科、形成外科、小児科（休診中）、皮膚科、泌尿器科、産婦人科（休診中）、眼科（休診中）、耳鼻咽喉科、放射線科、リハビリテーション科、循環器科、麻酔科



新病院2020年完成予定

病院の特色：大分県南の中核病院として急性期医療（脳外科・消化器外科等の手術、透析、心臓カテーテル治療、消化器・血液内科等の化学療法等）を担っています。

また、新病院建築に向けて、災害拠点病院、DMAT指定病院としての機能を発揮し、質の高い医療を提供することを方針にあげています。

薬剤科長からのメッセージ

当院薬剤科は内服・注射薬調剤、持参薬鑑別、薬剤管理指導、病棟薬剤業務、外来化学療法室・透析室への薬剤師派遣、抗がん剤・TPN無菌調製、TDM、医師承認のもとでの外来・入院処方代行など幅広く業務を行っています。

研究会、勉強会、学会への参加・発表、各種認定・専門士の取得、カンファレンスなども活発に行っており、薬剤師一人一人の質の向上を基に、医療チームの一員として貢献しています。

当院薬剤科は、様々な最新機器・システムを導入しており、中規模病院の中では、全国でも有数の設備が整っている職場となっています。

これらの設備により、日々の調剤・鑑査業務を正確かつ効率的に行うことができ、薬剤師の病棟常駐化による業務の充実にもつながっています。

[薬剤科基本理念]
医薬品の適正使用の推進
チーム医療の充実
患者サービスの向上



2017年入職

道野南風 川勝美里

新病院
で一緒
に働きま
しょう



消化器外科、泌尿器科、耳鼻咽喉科を担当しています。患者様のために日々考え、情報収集・知識習得に努めています。一方的な説明ではなく、わかりやすい指導を心がけています

主な認定・専門薬剤師

日本糖尿病療養指導士
NST専門療法士
感染制御認定薬剤師
認定実務実習指導薬剤師

施設認定

薬学教育協議会薬学生
実務実習受け入れ施設
日病薬プレアボイド報告施設





独立行政法人 地域医療機能推進機構

湯布院病院

住所：大分県由布市湯布院町川南252

TEL：0977-84-3171

mail：main@yufuin.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：273床 宿舎：あり 保育所：なし

診療科：内科、循環器内科、整形外科、リハビリテーション科、神経内科、心療内科



病院の特色：当院は、豊富な温泉と豊かな自然に囲まれた環境の中で、脳卒中、整形外科、心臓病の高度リハビリテーションを行う地域の拠点病院です。地域リハビリテーションを推進する中核施設として「大分県リハビリテーション支援センター」に指定され、地域リハ支援活動を展開しています。また、多職種協働でのチーム医療に早くから取り組むとともに、先進的なリハビリテーションの取り組みや研究も行っています。

薬剤科長からのメッセージ

湯布院で共に地域の薬剤師を
目指しましょう！

◆ 薬剤科理念 ◆

薬に関する専門職として、他の医療スタッフと密接な連携のもと、安全を確保しながら、良質な薬物療法を提供し、地域医療に貢献していきます。

当薬剤科では、外来処方が全面院外処方になり、病棟業務やチーム医療への関わりを徐々に進めています。また当院は地域包括ケアを推進するため、一般病床、地域包括ケア病棟、回復期リハ病棟、緩和ケア病棟を有していることから、在宅、臨床栄養や緩和医療など、湯布院のような地域の医療機関ならではのテーマが豊富にあり、今後の**伸びしろがある薬剤科**です。また、通常の薬物療法だけでなく、アロマテラピーに関する資格を有する薬剤師により、院内スタッフとともに色々な手法で患者さんへのアプローチを行っています。



現在は、薬剤師4名、助手2名体制の少数精鋭で業務を行っていますが、とにかくやれることをしっかりと頑張っています。薬剤師としての基本は勿論、院長の「人の成長」の目標のもと、専門薬剤師を目指すことも病院がバックアップしてくれます。

四季折々の素晴らしい姿を見せる名高い温泉地「湯布院」で、共に薬剤師をやってみませんか！



独立行政法人 地域医療機能推進機構

宮崎江南病院



住所：宮崎市大坪西1丁目2番1号

TEL：0985-51-7575

mail：main@miyazaki.jcho.go.jp

担当：総務企画課

病床数：269床 宿舎：なし 保育所：なし

診療科：内科 外科 整形外科 リハビリテーション科 形成外科 放射線科 麻酔科 循環器科

病院の特色

1. 地域医療支援病院である
2. 宮崎県内唯一の形成外科認定施設である
3. 急性期から慢性期に至る患者を対象としている
4. 宮崎NST研究会の幹事病院で、NST教育認定施設である
5. 訪問看護ステーションを併設し、在宅緩和医療を支援している



理 念

私たちは、医療人としての奉仕の精神と和の心を大切にし、地域に信頼される病院として医療・介護・福祉に貢献します。

薬剤科長からのメッセージ

「充実した医療を提供するために、一緒にがんばりましょう！」

当院は、栄養サポートチーム・緩和医療チーム・がん治療支援チーム・感染対策・褥瘡対策・医療安全管理など各委員会においてラウンドや症例検討会で薬剤師職能を発揮しています。学生実習は、認定実務実習指導薬剤師（4名）を中心に積極的に受け入れ実習指導を行っています。また学会（全国・九州地区など）で発表、研修会に参加し、スキルアップを目指し、それぞれの分野での資格取得へと取り組んでいます。これからは地域医療、地域包括ケアの要として院内・院外スタッフと連携を取り、地域住民の多様なニーズに応えていきたいと考えています。

他職種との連携

- 栄養サポートチーム
- 感染制御チーム
- がん治療支援チーム
- 緩和医療チーム
- 褥瘡委員会
- リスクマネジメント委員会
- クリティカルパス委員会
- 地域包括ケア連携委員会

認定薬剤師

- 日本病院薬剤師会：がん薬物療法認定薬剤師、感染制御認定薬剤師、生涯研修認定薬剤師
- 日本薬剤師研修センター：認定実務実習指導薬剤師、認定薬剤師、小児薬物療法認定薬剤師
- 日本糖尿病療養指導士認定機構：日本糖尿病療養指導士
- 日本くすりと糖尿病学会：糖尿病薬物療法准認定薬剤師
- 宮崎地域糖尿病療養指導認定機構：宮崎地域糖尿病療養指導士
- 日本静脈経腸栄養学会：NST専門療法士
- 日本臨床腫瘍薬学会：外来がん治療認定薬剤師
- 日本化学療法学会：抗菌化学療法認定薬剤師
- 日本アンチ・ドーピング機構：公認スポーツファーマシスト
- 日本アロマ環境協会：AEAJ認定アロマセラピーアドバイザー



JCHO九州地区



JCHO 九州地区

独立行政法人地域医療機能推進機構 九州地区事務所
〒806-8501
福岡県北九州市八幡西区岸の浦1-8-1
☎ : 093-641-9744(代表)
Fax : 093-641-9110
<http://www.jcho.go.jp/chikukyusyu/>